

世界初・完全養殖マグロの

# 近畿大学を見学

## チャレンジ精神いっぱい いろいろ「1位」がいっぱい

世界初の完全養殖を成功させ、そのおいしさが評判の近大マグロ、それを産み出した近畿大学。主婦たちの関心も高いでしょうと、チャレンジ精神全国1位をうたう同大学を6月29日(木)の午後、見学させていただきました。ご案内くださったのは、同大学副学長の岩前篤氏です。

建築学科にある副学長室でオープンキャンパスで渡される【「近畿大学データブック2024」】数字で見る近大のスケール】大学紹介冊子を見ながら説明頂きました。

※近大は世耕弘一氏(初代総長)が「学びたい者に学ばせたい」と興された大学であること。

※2025年は近畿大学創立百年。催しを考慮中。

※近大マグロをはじめとした研究教育が注目され近大志願者数全国1位、連続9年、日本1位に。

※学生数32、665人全国3位、西日本1位。

※民間からの受託研究全国1位、研究費受入額西日本私大2位。

※世界ランキング11000大学中801位日本国内評価より、海外での評価は高い。

学生さんたちは校舎に入るまで、芝生の上で寝転んでいたり、ベンチで調べ物をしていたり、椅

子にもたれたり、外壁の傍に座っていたりと広い空間で思い思いにリラックスしている感じ。

ビブリオシアターと言

う大きな建物は敷地全体が世界一の免振台で免振されて、白い敷石の範囲は学生を護れるとのこと。



アカデミックタワーは図書館で、蔵書は1階3万冊2階4万冊(内漫画2万冊)一般的な図書館の並べ方ではなく興味を惹き易く調べ易いよう配置されていた。学生は置かれたテーブルと椅子だけでなく、自由に床にも座って学んでいました。

パソコンで建物内の蔵書が読め、遠地でも学べる仕組みとどこからでも授業が受けられるオンライン動画配信がある。

1階2階と24時間使える自習室を大きく取っており、動線の傍らにはガラス張りのいくつにも分かれた部屋があり、コンベにより年間研究室として使え、企業と学生のコラボ開発や研究の様子が外からもよく見え、近大仕様での開発もありました。

ここでは自習室の場所や席の確定や登録、カフェや学食の支払いも、全て学生証での決済でキャッシュレスでした。

保護者の要望で学校に來ているか、校内のどこに居るのか、何時から何時まで居たのかまで把握できるそうです。

コンベにより、学生がプロデュースした店を構内に开店し経営を学んでいました。

建築学科のエントランスにはまちづくりの街の模型の優秀作品展示と、毎年コンペで選ぶ「対話のための最小限空間とし

ての茶室」展示の今年の選出作品の展示がありました。

別棟には「eスポーツ」専用の部屋があり、一段高く審査員席、中央に選手席、窓際に実況を流す機器が置かれ、国際試合もあり、試合中でした。

eスポーツはオンライン対戦ゲームを、まるで指が20本あるかのように素早く動かす最先端のスポーツで、団体戦のため作戦や連携など団結力を養う合宿をするそうです。プロで活躍している者もいるそうです。

少子化に向かう今、日本に來る学生はアニメに惹かれて、国家戦略で育てる外国には追いつかれるのはすぐだろうし、何も手を打たなければ優秀な者は海外へ出て行く。

課題は、学生の居場所がどれだけあるかで、学生や教育の福祉施設として、ラーニングコモンズを建てた。

受験偏差値(良い大学に受かるための偏差値)より、生活偏差値(人間関係が良くできる人、会社の受けが良い人)の高い学生を「学生と共に育つ」を念頭に置いて育てています。

岩前副学長は力を込め「挑み続ける近畿大学は今日も明日も休みませんと」と話されていました。